

福島第一原子力発電所 1号機放射性物質飛散防止剤散布作業及び 原子炉建屋カバーの屋根パネル取り外し作業に係る現地調査結果

平成26年11月19日
福島県原子力安全対策課

1 調査日

- (1) 飛散防止剤散布作業 平成26年10月22日～25日、27日～30日
※26日は休工日のため調査を実施していない。
- (2) 屋根パネル取り外し(1枚目) 平成26年10月31日
- (3) 屋根パネル取り外し(2枚目) 平成26年11月10日

2 調査結果

(1) 飛散防止剤散布作業

○作業時の確認事項

- ・檜葉町駐在職員が、すべての作業日において現場で作業状況の確認を行いました。
- ・作業開始前に、東京電力から風向風速について報告を受け、作業開始条件を満たしていることを確認しました。
- ・作業中は、構内の各ダストモニタの測定値の確認を行い、測定値に異常がないことを確認しました。

○カバー損傷トラブル（10/28）発生後の対応

トラブルの発生に伴い、県では東京電力に再発防止対策を求め、東京電力は作業計画書に以下の内容を追加しました。

- ・瞬間風速が毎秒10mを超えた場合は、作業を中断し様子を見ること。
※従前の内容：平均風速が毎秒10mを超えた場合のみ作業中断
- ・散布時に毎秒10mを超えた場合、速やかにクレーンを抜き開口部の拡大を防止すること。
※従前の内容：作業計画書に記載なし

(2) 屋根パネル取り外し作業

○免震重要棟緊急時対策室（ダストモニタ監視装置）、リモート操作室

- ・廃炉安全監視協議会が、監視モニターや図面、風速等を確認しながら、現場の作業コンテナ室と連絡や指示を行い、屋根パネルの取り外しが作業計画通り実施されていることを

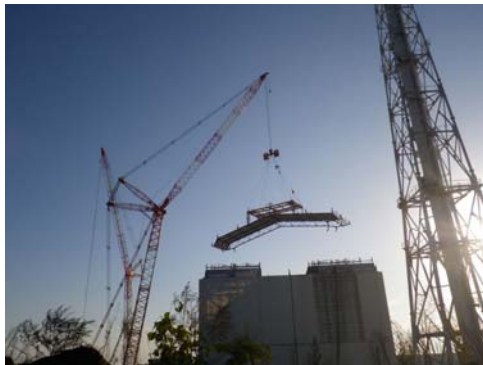
確認しました。

・また、ダストモニタの測定値に異常はなく、放射性物質の飛散がないことを確認しました。

○ 1・2号機開閉所前（屋根パネル吊り上げ移動作業状況）

・廃炉安全監視協議会が、1・2号機開閉所前にて、屋根パネル吊り上げ移動の作業状況を確認しました。

・檜葉町駐在職員が、東京電力の測定した屋根パネルの線量を確認し、放射性物質による高い表面汚染がないことを確認しました。



3 申し入れの実施

現地調査後、廃炉安全監視協議会が、東京電力に対して申し入れを実施しました。

- 今後実施されるガレキの調査結果等を踏まえ、改めて放射性物質の飛散防止対策の強化を行うこと。
- 当分の間、屋根パネルが開放された状態となることから、ダストモニタ及びモニタリングポスト等による放射性物質飛散に関するモニタリングをしっかり行うこと。
- 作業の全体行程、毎週の作業予定、毎日の作業実績状況について、県民に分かりやすく丁寧な情報提供を行うこと。
- 万が一、飛散または飛散した恐れが発生した場合、関係機関及び県民へ速やかに情報提供するとともに、作業を即時中断し、飛散防止剤の散布を行うなど、しっかりと現場の管理と意識の共有を図ること。

